

令和6年度第1回交通会議議事要旨 (令和6年4月30日)

令和6年8月30日

南城市地域公共交通会議

1. 議事次第

令和6年度（第1回）南城市地域公共交通会議

日時：令和6年4月30日（火）14：00～

場所：南城市役所1階 保健センター

次 第

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 会長挨拶

4. 報 告

1. 令和5年度第5回及び第6回会議の議事報告について・・・資料①
2. Nバス及びおでかけなんじいの利用状況について・・・・・・資料②
3. Nバス運賃支援事業の利用状況について・・・・・・・・・・資料③

5. 議 事

1. 令和6年度南城市地域公共交通会議予算（案）について・・・資料④
2. 令和6年度の取り組み（案）について・・・・・・・・・・資料⑤
3. 南城市生活交通確保維持改善計画（案）について・・・・・・資料⑥

配布資料一覧

資料①令和5年度第5回及び第6回会議議事要旨
資料②Nバス及びおでかけなんじいの利用状況
資料③Nバス運賃支援事業の利用状況
資料④令和6年度南城市地域公共交通会議予算（案）
資料⑤令和6年度の取り組み（案）
資料⑥南城市生活交通確保維持改善計画（案）
参考資料①南城市地域公共交通会議規約
参考資料②南城市地域公共交通会議事務局規程
参考資料③南城市地域公共交通会議財務規程
参考資料④南城市地域公共交通会議委員名簿

2.議事概要

2-1.N バス及びおでかけなんじいの利用状況について

番号	委員	事務局
1-1	P5 の運賃区分別利用者数に、「N バス運賃支援事業」の利用者は含まれるか。（神谷副会長）	65 歳以上の「N バス運賃支援事業」利用者は一般の区分に含まれる。障がい手帳をお持ちの方で高校生であれば、高校生の区分に含まれている。
1-2	P12 で観光客の利用割合が3%とあるが、どのようなルートで利用しているのか。（大城(繁)委員）	観光客の利用割合 3%は、おでかけでなんじいの数値になるが、移動先の整理結果を、次回提示する。
1-3	おでかけなんじいのキャンセルの理由の整理はできているか。満員で配車できない場合は、需要を拾う必要がある。（村上委員）	データでの整理はできていないが、オペレータに確認すると、満車等の事務局側の都合でのキャンセルは少なく、主に利用者側でのキャンセルが多いと聞いている。状況については、引き続き確認していく。
1-4	Nバスとなんじいの利用は、P1 の利用状況で R6.2 月が最高となっているが、昨年末からの路線バスが運転手不足で減便になったことに関係があるのか。また、利用者から、行きたいところに行けなくなっているや、Nバスの乗り継ぎなどの問い合わせはあったか。（村上委員）	路線バスの減便と利用者数との関係は分析できていないが、路線バスが減便した時期は、いくつか問い合わせがあり、Nバスの案内をしていた。また、3 月までは N バス娘でも、馬天入口での乗り継ぎ一覧を作り案内していた。 減便によって乗り継ぎがうまくいかなかったところは、今後、対応していく。
1-5	P7 の曜日別利用について、R 6.3 月は、土曜日の利用が、平日の利用に対してかなり割合が高いが、65 歳以上の利用が増えているなど、要因はわかるか。（屋宜委員）	Nバスの利用について、曜日ごとの分析はまだできていない。今後、分析を行っていく。
1-6	P 5 の運賃区分別利用について、現金での利用が増えているが、理由は分かるか。（神谷副会長）	観光客の利用と考えられる。市民は OKICA や回数券での利用が多く、県内在住の市外の方も OKICA が利用できる。 コロナ禍が明けて、県外や海外からの観光客をよく見かけるようになり、観光客の利用が増えていると考えられる。

2-2.令和 6 年度南城市地域公共交通会議予算(案)について

番号	委員	事務局
2-1	R5 年度との、予算増減の比較はできるか。 (大城(直)委員)	R5 年度は、交通会議としての予算は持っておらず、今年度からの新しい予算になる。
2-2	令和6年度南城市地域公共交通会議予算(案)を承認する。(委員全員)	—

2-3.令和 6 年度の取り組み(案)について

番号	委員	事務局
3-1	MMについて、沖縄県交通政策課と浦添市でとりまとめているので、参考にし進めてほしい。 学校 MM は、学校でも SDG' s の中で公共交通も学んでおり、南城市だけでクローズするのではなく県内市町村に繋げるアプローチが大切である。 また、行政から子どもに話すより、学校の先生方を通すと生徒にも伝わりやすく、そのためには先生方に交通のことを知ってもらうことも必要である。全国各地に色々な事例もあるので、今年度というよりも、今後も見据えていろいろと検討していただけると良い。 (神谷副会長)	沖縄県と浦添市の取り組みを参考に、南城市としても力を入れていきたいと考えている。 昨年度、佐敷小学校が、独自に環境教育の一環として公共交通を取り上げてくれており、教育委員会と連携しながら進めていきたい。
3-2	運賃については、交通会議の中でも議論をするが、市として N バスや公共交通を運行するためにどれだけ負担をしているか、また国の負担金はどれぐらいありどう使っているのか提示してほしい。 (神谷副会長)	公共交通の運営にあたり、どれくらいの費用がかかっているかを提示できていないことから、情報を開示し、理解を深めながら、運賃の検討を行っていききたい。
3-3	マイナンバーカードの連携については、デジ田の活用も検討してほしい。 (神谷副会長)	デジ田は、補助率が高いことから前向きに検討したい。N バスの運賃支払いの区分は自己申告で、一部、不適切な利用も見受けられるが、マイナンバーカードを活用することで、適正に運賃割引を行うことができ、さらに、利用者の属性データの把握が可能であることから、連携を検討したい。

番号	委員	事務局
3-4	観光の二次交通、三次交通について、何年か前に NEC が MaaS を行っていたと思うがと、その後はどうなっているか。（神谷副会長）	MaaS の現在の進捗は、確認できていない。南城市では、3 月に南城市役所、おきなわワールド、斎場御嶽の 3 ヶ所をつなぐ観光バスの実証運行を行い一定のニーズがあることを確認できた。市内の観光拠点をつなぐ交通が弱いため、今後、観光協会や観光事業者と連携して取組を進めたい。
3-5	公共交通の接続は重要であり、できるだけ効率よく繋がるように検討していただきたい。乗り継ぎなどの周知についても、各交通事業者にも協力してもらい、スムーズに接続できるようにしていただきたい。（村上委員）	昨年度に減便が数回行われており、事前に交通事業者より情報提供をいただき、ダイヤ調整をできないか検討をお願いしている。 乗継については、市の広報誌でも対応しており、今年度も同様に周知活動を行っていく。
3-6	運賃の検討に関して、乗り継ぎ利用の方への割引きや、通勤通学など利用頻度が高い方にはお得になる仕組みなどあるとよい。（村上委員）	乗り継ぎ割引については、市内の高校生以下は、N バスの運賃を 80 円とすることで、実質的な乗り継ぎ割引を行っている。他の事例等でよりよい施策あれば、検討していきたい。
3-7	交通まちづくりの検討について、住民の皆様の声は重要なので、機運醸成だけではなく、計画にも反映するため、WS などを是非進めていただきたい。 N バスの運営も、地域の企業や病院など巻き込んで検討できると良い。協賛金があればよいが、バス待ちの際に、待合場所として屋根のある所を提供するなど協力していただき、相互にメリットがあることを示しながら連携できるとよい。 沖縄総合事務局の調査結果も共有しながら、より良い計画を作っていただきたい。（村上委員）	沖縄総合事務局の調査結果も参考にしながら、進めていきたい。行政主導だけではなかなか進まない部分もあり、利用者、住民、企業が主体性をもって参画できるよう、2 ヶ年の計画づくりの中で、少しでもいい方向に進むように模索していく。
3-8	令和 6 年度の取り組み（案）について承認する。（委員全員）	—

2-4.南城市生活交通確保維持改善計画(案)について

番号	委員	事務局
4-1	P5の地域間幹線系統について教えてほしい。（屋宜委員）	複数市町村を跨ぐ路線で、国の補助制度を利用して運行しているバス路線になる。南城市には、50番系統、51番系統、82番系統の3路線になる。
4-2	P3事業の目標について、利用者数の目標値は、現況値より減っているが、どのような考え方か。（村上委員）	現況値は8時～20時台までの運行だったが、新しい計画では平日9時～17時台まで、休日は9時～16時台時までと運行時間が短くなるため、1日あたりの利用者数は少なくなる。
4-3	南城市生活交通確保維持改善計画（案）について承認する。（委員全員）	—